

公民館だより

No. 83

ひがしの

2004. 7.

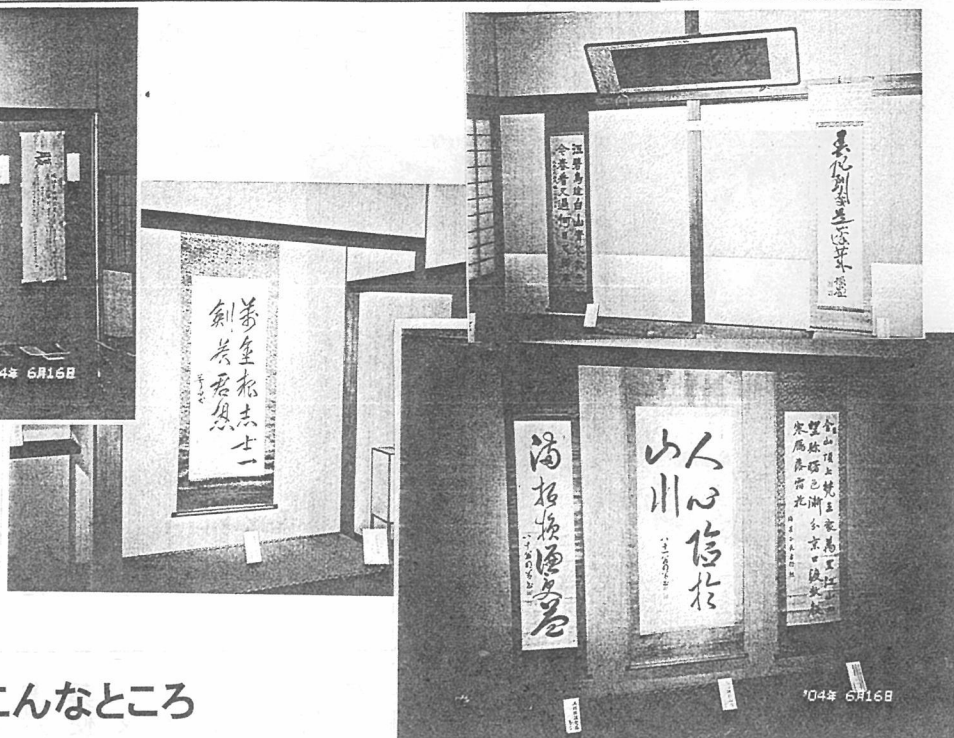
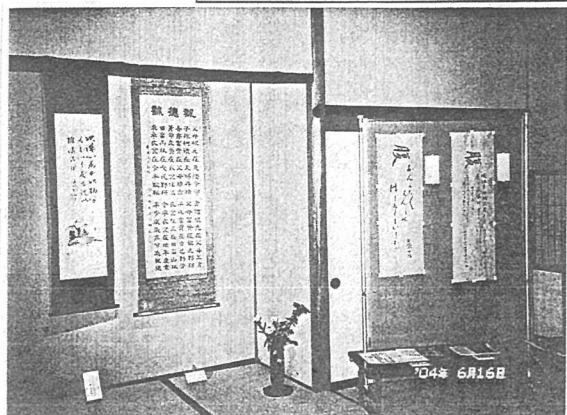
人口 1,814 人

(男) 887 人

(女) 927 人

世帯数 557 戸

(H17, 6, 1 現在)



東野こんなところ

その1 家と里のおしえ「東野に残る書」展示—ひしや資料館にて

東野に残されている歴史、文化、後世に伝える書の一部を借り受け展示されています。

シクラメン栽培の発祥の地にふさわしく故伊藤孝重さんのシクラメン栽培日誌、東野において美林の基を築いた金原明善の書、ほか二宮尊徳肖像画、報徳訓、また、先祖様が縁あって授かり家訓として保存されている書等の展示です。

さて、なんと読むのかな？どんな意味だろう？よくぞこんな立派な書が—感服の声も聞かれます。7月11日(日)までの展示です。

その2 写真と木工製品—タウンプラザ恵那(恵那駅前—観光案内所)にて

恵那市観光協会の各支部が順次紹介されることとなり今回は東野支部の期間です。

準備期間も少なく、僅かなスペースですが、ほたるの舞い、レンゲ畑、桜、ゴヨウツツジなどを写真で紹介、また木地師小林さんのろくろ細工 16 点も展示されており、あまり知られていない東野の一面を紹介されています。

7月11日(日)までの展示です。

ご覧下さい。

東野青少年育成会議活動

東野青少年育成会議 会長 伊藤善尚

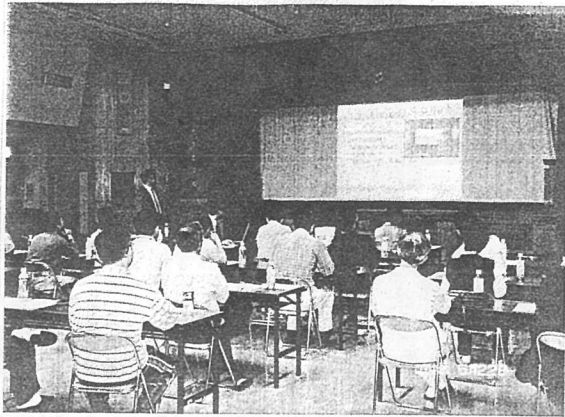
全国的に少子化が進む中、東野地区としても、幼小中学生二五〇人ほどで、年々と少なく、各自治会の各家庭を見ましても、二〜三家族、道行く子供、広場で遊ぶ子供を見る事の少なさ、我々の時代から見れば半分、東野全体としても淋しい気持ちです。

青少年育成会として今年も子供とふれあう行事を組み、皆さまと共に楽しくやっつていこうとする中で、六月十一日ほたる祭り、前日より、各皆様方と共に川の草刈り、東雲会により看板の設置を行いました。

午後八時ごろはたるがちらほら出はじめましたが、今年の場合、ほたるの数も朝、夜の低温により少なく感じられましたが、住民の方々、他町村より沢山の人々、子供達がかけつけて、ほたる鑑賞、版画に夕暮れを楽しくすごしました。

八月に入り、夏祭りバザー出店、地域環境美化活動、飯沼川にて魚つり体験、又、二月には、長田百合子先生による講演会を計画しております。

子供達が、のびのびと育つなかで住民のみなさま方、おたがいに声をかけあって、はげましあつていただきたいと思います。



命の源、水資源

飯沼川公害対策協議会

依馬和昌

川の流れと、地下水は地球の水の0.8%しかない大切な資源です。こうした大切な資源を汚染させずに後世に引き継ぐことは、今に生きる我々に課せられた大切な務めだと思えます。

今地球上で十億人の人が我々日常に何気なくのんでいる水が飲めません。五人に一人の人が何の制約も無しに飲んでいる水が飲めないのです。

こうしたことから地区の大半の灌漑、利水の源流飯沼川の水質を飯沼川公害対策協議会では上流のゴルフ場で利用される農薬の流出を監視する為農薬使用期間中水質の分析を行っております。

又、毎年七月には公害対策協議会独自で三箇所、特別水質検査を実施して水質を守って居ります。

以上の結果平成三年から平成十五年までの水質については問題なく推移しております。

現在日本の工業、農業、生活、を合わせて年間八百九〇億トンの水を消費して居ります。

日本の食料自給率は穀物ベースで27%、カロリーベースで40%従って食料を輸入する必要があります。輸入した食料穀物を水に置き換え、仮想水として換算すると七百四十四億トンの水を輸入している事となります。

その昔、とうとうと流れて居た谷川の水量も減少しています。山林が財源として植栽された杉、ヒノキが四十年から五十年となり、下草も無く、上根ばかりで保水力が低下している事が原因かと推測いたします。

大切な命の源、水資源の事を皆で考え直し後世に引き継ぎたいと想います。



市民講座（日常のマナー）を受講して

土方陽子

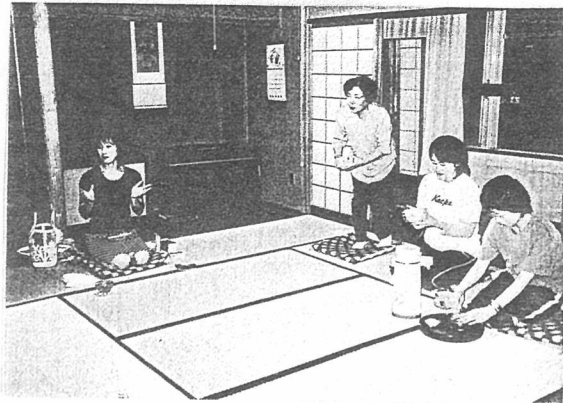
今回三つの講座を受講しておりますが、一つは「日常のマナー」です。マナーとは、相手に対する思いやり、毎日の生活の中では何気なく使っている言葉、態度が相手を傷つけてしまうことがあります。知らなくても知らなくてもしかたないけれど、知っていれば得をする、それを学ぶ講座です。四回で終了ですが先生のお人柄がよく、楽しく学ぶことができました。この講座を受けて得をした気分です。

礼とは相手を敬う事。ハイ、ハイと首を縦に振りながら相手を見ないあいまいな礼は美しくありません。正式な場には真の礼が美しい。敬いながら真の礼を皆さんも鏡を見ながら練習してみたいかがでしょう。

お抹茶を立てて飲みました。若い女性の方は、「おいしい。初めて飲みました。お茶って楽しいねえ。」と感想。初心の気持ちは大切にしたいですね。茶せんとお抹茶さえあればお茶は飲めますから家庭でも楽しんで下さい。この楽しむという事が一番大切な事です。本当に勉強したいと思ったら専門の先生に指導を受けければ良いと思いますが、この楽しいねえと思うきっかけを作る事が大切だと思っております。

浴衣の練習をしました。自分で美しく着る。ほんのささいなことでも正座が楽になり、歩き方が美しくなりました。また写真を撮る時の美しいポーズ、他にもたくさん細かい事を勉強しました。

日本の文化を少し学び、家族に伝え友達に伝え、広めていく事も大切だと思います。



「ちょっと、行ってきました」

Wa-K&Ta-Kに参加して

受講生M

私の移動はほとんど車です。いつも道を歩いてみたいと思っていました。今回この講座を見つけた思い切って参加しました。現在参加者は二十名で、なかには万歩計を持参し挑戦しておられる方もみえます。

○ 趣旨

① おしゃべりしながら健康づくり

② 一万歩に挑戦 ③ 東野の自然と名所めぐり

○ 活動メモ

第一回 五月十一日 晴 十三時

テーマ 「新緑の木の芽、草の芽に触れて」

コース 東野駅～鷺尾神社～白坂～辻

* 帰宅後、久し振りに地図を開く

第二回 五月二十六日 晴 十三時

テーマ 「伝西行竹林庵跡を訪ねて」

コース 染戸～ハイカラ橋～竹林庵跡～両島橋～下橋戸

* 西行の史跡が多く、親近感を抱く、小路には「はんしょうづる」が咲いていた

第三回 六月八日 小雨 十三時

テーマ 「八坂神社と植物」

コース 上橋戸橋～八坂神社方面

* 雨カツパ着用

第四回 六月二十二日 晴 十三時

テーマ 「ぼたる街道を行く」

コース 染戸五輪塔・宝篋 印塔～定蓮寺川～廣田神社

* 廣田神社・公文橋下の二基の咳岩神が笠置山に向かう線上にあるという！古代人のロマン

始めたばかりですが、次回が楽しみです。



ボランティア活動に参加して学んだこと

恵那東中学校二年 伊藤 奈々

私が、ボランティアに参加したのは、東野のこどもクッキングと、文化センターの、手話教室です。それと、健康祭りです。

参加の目的は、人のお世話をすることも、大切なことだと思ったからです。こどもクッキングでは、小学生が、お菓子や、夏野菜のスープや、その他、みんな、楽しくお料理の勉強をしており、私はサポーターとして出席を取ったり名札をくばったり、先生の指示を受け材料を配ったりします。

手話は、小鳩会と言うサークルで、二年半位やっているの、子供手話のお手伝いが出来たらと思ったのと、私も一緒に勉強したかったからです。

ある日、先生が突然お休みされ、私に代わりに先生をやつてと言われ、どうしようかと思ひ、胸がドキドキしました。

でも、頑張つてやろうと引き受けてみました。

子供手話では、まず指文字を教えていたのですが、私は、生活に必要な事を教えてあげました。

みんな一生懸命聞いてくれたので、助かりました。でも、心の中では、みんな私の説明でわかつたかな？と不安もありました。終わった後、「みなさん、何か聞きたいことは有りますか？」と聞いたら、男の子が、「虫の手話を教えてください。」と言われ、「私も勉強中でわかりません。」と答えました。

学校では、先生に教えていたたく立場から教える立場になり、初めて先生の大変さがわかりました。健康祭りでは、雨の中、カードゲームのトーナメントの線を書きました。掲示を支える棒が当たつても、一生懸命受付をしました。痛いし、冷たかったが、ここへこたれてはと思ひ、一生懸命やりました。



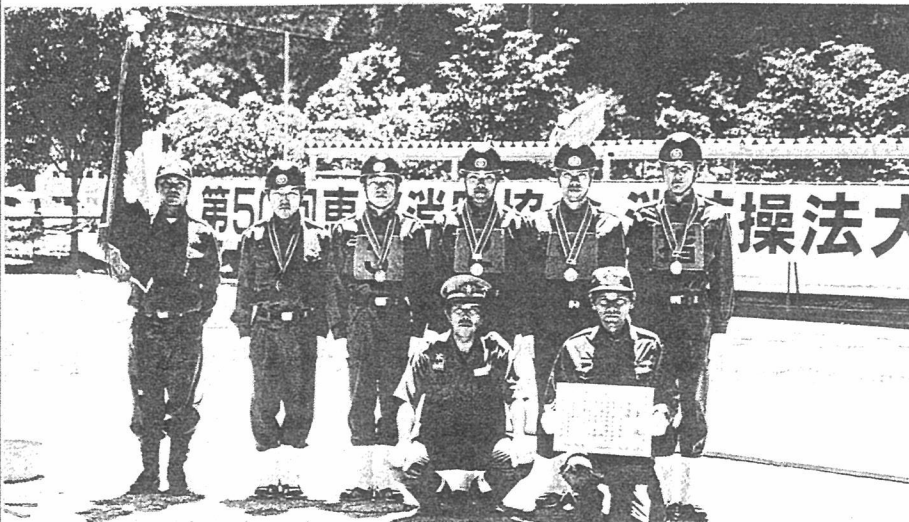
消防操法大会 準優勝

六月十三日行なわれた恵那消防協会主催による消防操法大会（小型ポンプの部）において東野（第三分団）は準優勝となった。

大会は恵那市及び蛭川村より選抜された十四チームによって操法が実施され、それぞれのチームの ○ 所要タイム、○ 行動審査（番員審査）○ 総合審査によって採点され、その結果によって順位が決定されるものです。

準優勝という成績はここ十数年内では最も上位であり輝かしいものである。選手、団員皆さんの健闘ご苦労様でした。

大会は終わった、これから梅雨明け大雨等予期せぬ自然災害、防火、いつ起きても不思議でないといわれる地震への備え、消防本来の使命は重要と思われる。地域の守りよろしく。



夢・芝居

東野歌舞伎保存会

会長伊藤 秀幸

昔 ある時、刃物の町関の春日神社にお参りしたくさんの古い能面や能装束を見る機会があった。その折社殿の前に立派な橋掛りのついた能舞台があるのに気づき、その周りを見回したがどこにも観客席がなく、不思議に思い近くにいた彌宜（ねぎ）さんに聞いてみた。答えは「お能は神に奉納するもので、人々は周りの地べたの芝生に座り神様のご相伴にあずかり見せてもらうものです」とのこと。また、これが「芝居」の言葉のおこりだとも教えられた。そう思ってみれば「恵東座」をはじめ田舎の芝居小屋は、神社の近くにあり舞台も社殿の方に向かっていることが多いようだ。これは私だけかもしれないが、「歌舞伎」というのもプロの役者が演ずるもののような気がし、「芝居」という言葉の方が好きである。「かぶき」の語源は「傾く（かぶく）」こと、即ち常軌をはずれ異様な身なりや振舞いをするのであり、そういう人を特に「かぶきもの」といい、後に「歌舞伎」の字を充てるようになったらしい。極端に誇張した化粧の隈取（くまどり）をしたり、派手な鬘や衣裳を着て大見得を切り、観客の注意を引きつけるこの演劇は、確かに傾（かぶ）いているといえる。

ところで、今の若い人達に、「義太夫」だとか「浄瑠璃」「浪花節」「浪曲」などといってもわかる人は少ないであろう。「浪花節だよ人生は」という歌があったがこれも死語になっているのかもしれない。誠に残念である。

何年か前にヨーロッパに旅行したことがあるが、どこの国にも何かしらその地域に根ざした文

化があった。ドイツではどんな町でも小さいながらもスタート・ハウス（国立劇場）が必ずあり、年に何回かはオーケストラやオペラ、演劇などを安価に鑑賞できるとのことであった。また、イギリスでは南部のケント州の立派なホテルに宿泊したが、周りには見渡す限り牧草の丘と農場ばかり。部屋から出てロビーでくつろいでいたら、野良着姿の中高年の男女が大勢次々と入って来て異様な雰囲気となった。変な気持ちで眺めていると急にその一団はある方向に消えてしまい二十分程するとその消えた入り口から黒いフロックコートと長いイブニングドレスを身にまとった紳士と淑女がキルトスカートのバッグパイプの音と共に、さつそうと現れたのには驚いた。ホテルマンに聞くと、それはさつさきの野良着の農夫達であり、週末の金曜日の一夜をホテルの会場を借りてダンスや歌に興じて過すのだという。果たせるかな夜中の遅くまで地階の方から音が響き寝られなかったが、ホテルの温水プールも宴会場も地元の人達に安価に利用できるようにしているこのホテルの才覚は誠に粋なものであり、プールで汗を流し預けてある衣裳に着がえ自前の楽団で夜通し踊り明かし一週間のうさを晴らすというこの文化に、大英帝国の歴史の重みと深さを感じた次第である。

これからの私達の文化もこうあるべきであろう。大金を投じて他人の演ずる歌やスポーツ、演劇などを観るのでもいいが、できるだけお金をかけず自分達がお互いに演者になり観客となるような文化を作り上げ、そして都市部ではできないような精神性の高い円熟した運命共同体となるような地域づくりをすべきであろう。

私はその一つとして、この東野に残っている地芝居を考えたい。幸いにしてこの地には衣裳屋がある。然し、太夫も三味線師も振りつけ師匠もい

ない。そして肝腎な芝居小屋がない。芝居小屋といえ、三郷と飯地の舞台が昨年恵那市によって改修され立派になり、近郷の蛭川には蛭子座（えびずぎ）、福岡に常盤座（ときわぎ）、加子母は明治座、黒川には東座（あずまざ）、下呂に白雲座（はくうんざ）、鳳凰座（ほうおうざ）、瑞浪の日吉には相生座（あいおいざ）があり、新しくは中津川の歌舞伎ホールがある。どうせなら鉄筋ではなく木造で花道が二本あり平場が升席（ますせき）の芝居小屋が欲しい。「恵東座」は約百五十年前の嘉永年間に建てられたらしいが、建設途中にお寺（宗久寺）が火災で焼失し、急遽その用材を寺の再建に振り向けたとのことである。本堂や庫裡の材木の太さを見れば地元の人達の力の入れ様が分かる気がする。一説によれば村中のどの山からでも気に入った木があれば自由に切り出してよいとのことだ誠な豪気な話である。

さて、そんなこんなで今年から小学校の歌舞伎クラブに付随して、「歌舞伎こども教室」を開くことにしました。財団法人伝統文化活性化国民協会（会長平山郁夫）の援助を受け、少しでも日本文化について知ってもらいたいと考え、保存会の役員が主としてお手伝いし実施するものであります。今年の十月二十四日（日）の公演には、小学生は「寿曾我対面」を上演すべく既に練習に入っておりますが、一般の方々からの役者の募集もしておりますのでよろしくお願いいたします。

終わりになりましたが、今年度の役員改選で再度会長をお受けすることとなり、他の役員の方々にも留任をお願いした次第でありますので、二年間ですがよろしくご支援の程お願い申し上げます。

「どんなに可能性の少ない夢のようなことでも、念じ続け、言い続けていればきつと実現する時が来る」と私は信じています。

合掌

わたい

東雲会に「小さな親切」実行章

このほど「小さな親切」運動岐阜県本部より実行章を受けられた。

実行内容は「東野地区は毎年六月にホタル祭りを開催し、そのための環境保全に務め、ホタルの里づくりに積極的に取り組まれており、今年も定連寺川でヨシを刈り取り、空き缶やゴミも拾い環境美化活動が行われた、また地域の花壇や施設の清掃活動を続けられています」というもので、「今後とも当運動に対して一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。」とある。

今回、東雲会が受けられましたが、東野住民の日の活動が評価されたものと思われます。

「小さな親切」は誰でも、どこでもさりげなく行われておりますが、こんな事があつた、うれしかった、など提供ください。



ほたる祭り

準備の前には時々雨が振り心配されたが、夕方には雨の心配も無くなり多くに人びとの参加がありました。

昨年同様子供用おもちゃの販売、吉村茂夫様のホタル版画の手刷り体験、ここ数年すっかり名物となり、毎年楽しみにしているという子供とお母さん、明知鉄道で来たという中津川のご夫婦、色々な人に出会え、昔の話など対話も弾む。

子供達は限られたお小遣いのなかでおもちゃを選ぶ楽しみ。

青少年育成会、東雲会、交通安全協会、振興会—実行委員会の皆様ご苦勞様でした。

幼稚園の皆さん「ホタルぬりえ」ありがとう。

また来年もたくさんの方のホタルに出会えるといいですね。



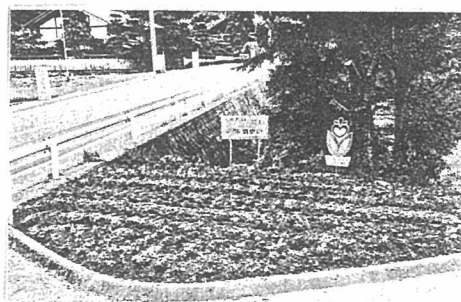
数日後、「何十匹と捕獲していた親子がいた」という通報、残念なこと

夏の花に模様替え

東雲会が管理される花壇が三ヶ所あります。

四月に植えられたパンジーなどに替わってサルビア、マリーゴールドなど夏の花に植え替えられました。三ヶ所の管理が分担され、それぞれ工夫して植えられており面白い。

地域によつては「まちづくり活動」、など取り組みは様々ですが東野においては定着し通行人に潤いを与えてくれている。



送り神（虫送り）・庭くさ

厄病を払う祭りとして東野では八坂神社と貴船・若宮神社で行なわれている。

八坂神社では、鉦（かね）などを鳴らしながら、藁で作った男女一対の人形と「送悪病害虫之神」と書いた幟の列がハイカラ橋まで行く（以前は阿木川に流していた）。

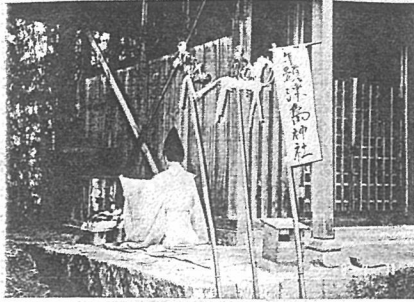
途中、家々から行列に向かって塩水をかけ、厄（わざわい）を人形に託す風習である。

貴船・若宮神社の幟は「奉納牛頭津島神社」で、屋下地内の阿木川へおさめている。

いつの時代から始ったものかわからないが、医者や薬、農薬もない時代、この地方に病が流行し、この悪疫を断つべく、また田畑の害虫を払うべく神に願った神事と思われる。

どちらの祭りも男女一対の、しかも男体、女体とはつきり区別される「モノ」が造られる、決して「性」の祭りではないのに「男」「女」を大胆に作り、「送り神送り、送り神送り」と呼んで堂々と行列する神事である。以前は七月十一日と決まっていたが今では当番組の都合で土曜、日曜に行なわれることが多い。

今年（若宮神社が七月十日（土）、八坂神社では十一日（日））は、行なわれる。奇祭、是非一度ご覧あれ。



すくすくクラブ

四月に開級式を行いました。今年は新しい方六名を含む十七名の学級生が集まりました。子ども達も元気いっぱいです。

最近、絵本が注目されています。すくすくクラブでは、自分の子供に絵本を読んで聞かせる時間を作りました。子どもはお母さんの膝の中でぬくもりを感じ、お母さんも子どものあたたかさを感じながら、絵本を楽しんでいます。

六月には少し早めの七夕飾りを作りました。今年もきれいなざりつけができました。ほほえましい願い事もいっぱいです。公民館前に飾ってありますのでご覧下さい。また、どなたでも飾りつけをしていただけます。

また、ひし屋資料館では、七月十一日まで企画展「東野地区に残る書」が開かれております。すくすくクラブの七夕がざりも添えられています。是非足をお運びください。

今年も皆さんに楽しみながら、学んでもらえるように計画を立てました。おもちゃ作りや、料理実習もします。また、子どもの遊び場を提供する、「なかよし広場」はプール遊びや、小麦粉粘土で遊ぶことができます。

すくすくクラブで楽しみたい方は公民館までご連絡下さい。



東野歌舞伎保存会役員（平成十六年度）

会長	伊藤秀幸
副会長	伊藤宮夫
理事	市川茂
伊藤全孝	土方千恵子
三浦進	伊藤明
監事	丸山公昭
顧問	渡辺浩光
千藤重明	千藤政治
（事務局）	公民館
三宅一嘉	

文芸

花無山句会（五月句会）

朴散華黄土の色に解脱して	鈴木抱風子
朴散華毎朝握る竹ほうき	々
初夏の駅特急「のぞみ」通過せり	足立いきむ
蟻姑つかむ下校の児の手は泥だらけ	市川茶山
初生りはたった七粒さくらんぼ	市川芳子
風吹けば風に従うコブシかな	伊藤ひろみ
病むたびに強くなりたく朴の花	伊藤道子
植田径類を撫でゆく若葉風	伊藤靖代
朴咲けり一、二、三、四数えけり	西尾筍子
朴咲けり老眼に見ゆ里の山	西尾美恵子
母の日に届く寄せ植え咲きつづく	土方ちかえ
山路を煮るや気長に老一日	松本はるか
なんじゃもんじゃ雨にうたれし花盛り	千藤恵三



東野公民館休館日及び講座カレンダー

変更場合があります。ご確認の上申込みをして下さい。

休館日

8月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
郷土料理				かな書道		
9	10	11	12	13	14	15
Walking		フラワー	心晴歌			
16	17	18	19	20	21	22
				かな書道		
23	24	25	26	27	28	29
Walking		藤	心晴歌			
30	31					

9月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
				かな書道	わくわく	
6	7	8	9	10	11	12
郷土料理		フラワー	心晴歌			
13	14	15	16	17	18	19
Walking		藤		かな書道		
20	21	22	23	24	25	26
			心晴歌			
27	28	29	30			
Walking						

20日＝敬老の日、23日＝秋分の日

10月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
						わくわく
4	5	6	7	8	9	10
郷土料理						
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11日＝体育の日

夏休み子ども向け講座

子どもたちの楽しい夏休みが始まります。夏休みの思い出に公民館講座にさんかしてみませんか？

◇保古用水を訪ねて◇

日時：8月10日(金)

午前9時東野公民館集合

対象：小学、中学生

持ち物：飲み水

服装：長袖長スボン、
ぼうし、履きなれた靴

◇親子でチャレンジ 木工工作◇

日時：8月8日(日)

午後1時～東野公民館

対象：小学、中学生

持ち物：メジャー

服装：作業の出来る服、

材料費：2,000円

申込時に作りたい物を選んでく
ださい

東野の山本風穴

(ふうけつ)を訪ねて◇

◇

日時：7月30日(金)

午前9時東野公民館集合

対象：小学、中学生

持ち物：飲み水

服装：長袖長スボン、
ぼうし、履きなれた靴

あとがき

○六月としては珍しい台風六号、この地方には大きな被害もなく過ぎますはやれやれ…

大雨警報時、各用水組合関係の方々が河川からの取水口を見回り増水による越水を防ぐべく水利調整を、また減水時は逆に水路に水が流れるよう努力いただいている姿を見かける、この方々の働きがあって田が潤い、増水による被害を防ぎ、一朝事あるときには防火用水に、常時には環境衛生に役立っている、地道な役目、大変な作業、ご苦労さまです。

八月の保古用水探訪に先立ちコースの草刈りをやっていただけの事です。この方々の善意を語りながら歩いてみよう。

○「広報紙作り」の講演を聞く機会があった、要約すると新聞(広報)つくりには

新しさ——珍しい、初めて知った。

人間性——ほのぼの美談、人の怒り。

社会性——大衆性、多数の関心ごと。

地域性——距離の近いニュース。

記録性——歴史書として。

更に、正確、簡潔、魅力——こんなことが重要なようである。

「公民館だより」編集に当たって地域の話題を重点に、更に教育文化機関としての公民館紙にふさわしい紙面つくりを務めているところです、

今回、多くの方から「寄稿」を頂き、「たより」を飾っていただいた、今後も皆さまの提言、話題提供をお願いいたします。

千藤 記